

【令和6年度用 様式1－表】 令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	51	豊田市立 西保見小学校	代表	小笠原明恵
------	----	-------------	----	-------

※分野【a:国際交流・国際理解、b:地域連携、c:自然体験、d:環境教育、e:学力向上、f:交流体験、g:福祉・ボランティア、h:伝統文化、i:その他()】から選ぶ。

テーマ	一人一人の力が生きる西保見っ子	分野	f	交流体験
	サブテーマ	一人の力を地域に生かし、地域を大切に思う子どもの育成	(その他)は分野を右欄に記入	
学校づくりの視点(ねらい)	<p>全校児童の約6割が外国人児童の本校においては、日本人児童と外国人児童、地域の方々等との交流を通して、コミュニケーション能力を高め、集団の中での自己有用感を育てることが求められる。地域のことを大切に思い、人に対する感謝の気持ちや思いやりの心をもった言動ができる子どもの育成をめざしたい。そして、多文化共生を身近に経験しながら仲間や地域の人との絆を育て、お互いの心と心を結び、やる気と活力があふれる学校づくりを展開するために、地域学校共働本部との連携を深め、次の4つの視点を重点として教育活動を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①コミュニケーション能力を培い、自己表現力（ダンス・音読発表・読書活動・作文発表等）や言語力（語彙力）を付け、人ととのつながりを大切にする子どもの育成 【学習指導と学力向上】 ②自分の生活を振り返り、自分や家族の健康を意識し、積極的に体力づくりに取り組む、明るく活気のある子どもの育成 【健康教育・体力向上】 ③将来の夢や希望をもち、体験活動やキャリア学習を通して、目標に向かって努力することのできる子どもの育成 【キャリア教育・交流体験】 ④地域との交流活動を通して、地域を愛し進んで地域のために貢献できる子どもの育成 【交流体験】 			
活動内容・計画	<ul style="list-style-type: none"> ①コミュニケーション能力【音読発表・作文発表・読み語り・読み語り・読書活動・学習・ICT活動等】 <ul style="list-style-type: none"> ・音読発表や作文発表等、個の作品を全校に発信する場を設けることで、児童が互いに認め合ったり、自己有用感を高めたりできるようにする。 ・担任による読み語りや読書活動、ICT活動等を通して、コミュニケーション能力を高め、気持ちを伝え合う楽しさや喜びを味わわせる。 ・異学年のふれあい班活動を通して、自他のよさを認め合い、仲間と交流する楽しさやコミュニケーションの大切さを味わいながら、西保見小学校をよりよくしていこうとする意識を高める。 ②健康の維持増進を図る健康教育と体力向上「1校1実践」【健康教育・体力向上】 <ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣の定着を図るために、家庭との連携を通して自他の健康の維持増進に対する意識を高める。 ・体力プログラム年間計画を通して、常に体力づくりができる環境を整え、自ら進んで運動に親しみながら体力向上に取り組み、明るく活気のある生活を送ろうとする気持ちを高める。 ・基礎的な身体能力向上をめざして創作した体力増進ダンスを、体育の授業や行事等で継続的に取り入れる。 ③夢と希望をもつ活動【キャリア教育・交流体験】 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野で活躍する講師や地域の方、地域学校共働本部との連携等を通して、夢と希望をもって努力していこうとする気持ちを高める。 ・学校生活の中で、目標をもつこと、生活のルールの順守、マナー、道徳心、学習規律等を身につけ、社会人として自立できる基盤を培う。 ④地域貢献活動【交流体験】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々による学習支援や昔遊びの会、読み語り等様々な交流の場を設定することで、異世代や地域の方との交流を深めたり、日本の伝統文化にふれたりする。 ・総合的な学習や地域の方々に感謝する会等を通して、地域の一員としての意識を高めるとともに感謝の気持ちを言葉で伝える場を意図的に設定する。 			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・校内整備員……④地域貢献活動 			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ①生活全般におけるコミュニケーション能力を養い、自己表現力（ダンス・音読発表・作文発表等）や言語力（語彙力）を高めることで、人ととのつながりを大切にし、相手を尊重し仲間意識をもって集団生活の向上をめざす姿が期待できる。 ②体育の授業に体力向上の活動を位置付け、年間を通じて継続することで運動することの楽しさを味わいながら体力向上につなげる。同時に、自他の健康の維持増進について、家庭との連携を深め、基本的な生活習慣の確立と体力向上をめざしたい。 ③学校生活の中で、目標をもつこと、生活のルールの順守、マナー、道徳心、学習規律等の指導を丁寧に行い、社会人として自立できる基盤を身に付けさせたい。そのうえで、地域講師や地域の方、本校卒業生との交流体験、地域学校共働本部が支援する交流体験を通して、夢と希望をもって努力していこうとする気持ちを高める。 ④地域の方々による学習支援や昔遊びの会、読み語り等様々な交流活動を通して、異世代や地域の方との交流を深めることができ、コミュニケーション能力が向上する。また、授業や行事等を通して、地域の方々との交流活動を継続することにより、地域の一員としての意識や相手の気持ちを考えて行動する態度、感謝の気持ちを育てることができる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ①児童の表情や発表した作品、子ども同士の感想交流。本の貸し出し冊数。保護者の学校評価アンケートの結果（数値）や地域の方からの感想。 ②欠席者数（数値）、保健室の利用状況と体力テスト結果（数値）で検証。 ③一人一人の児童が将来に対する夢や希望をもって努力しようとする様子。 ④自他のよさを認める感想発表。地域の方々との交流活動における児童の様子や地域の方からの感想。 			